

Tokyo Tobihino Rotary Club

国際ロータリー第2750地区(多摩南グループ)東京飛火野ロータリークラブ



会長 梅田 俊幸



幹事 結城 祐純

会長テーマ

地域社会へ奉仕の輪を広げ
ロータリーの理念を広めよう



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

2021-22 Weekly Report vol.34-41

2022年6月28日(火) 第1587回 最終夜間例会「会長・幹事引継式」 於:立川café sov

■開会点鐘 会長 梅田俊幸会員

■会長挨拶

本日最後の地区の「クラブ会長・幹事会」が行われまして、ガバナー賞を4つ頂けると思っていたら、7つの「ガバナー賞」を頂きました。そして、ガバナーから会長に感謝状も頂きました。ありがとうございました。

■幹事報告 幹事 結城祐純会員

特に報告はありません。楽しく飲んで親睦を深めてください。

■親睦委員会委員長 小高俊明会員

ニコニコ大賞発表

- ・渡邊良勝会員 週報4号
- ・仙波秀夫会員 週報15号
- ・守重昌之会員 週報25号

■出席委員会委員長 日高絢子委員長

全会員に皆出席賞を贈呈。

※夜間例会場のオーナーが梅田会長の知人で、途中挨拶にお見えになり、名刺交換をされた。

◆◆◆ 会長幹事引継ぎ式 ◆◆◆

梅田会長から守重次年度会長に会長バッヂが、結城幹事より仙波次年度幹事に幹事バッヂが引き継がれた。

守重次期会長より、「梅田会長・結城幹事大変お疲れさまでした。私は基本的には前期の活動を引き継いで押し進めてゆきたいのでご協力お願いします。」と次期への抱負が、仙波次期幹事より次期への決意が述べられて引継ぎ式は無事完了。

今季を振り返りますとやはりコロナ禍で、行動制限がなくなった今でも、毎日新型コロナ感染者が1万6000人近く(6月24日)出ており、東京でも前週比で感染者が

増加、再拡大が懸念されています。人の多く集まる所・飲食店などは相変わらずマスク着用を求められています。そして、早期の終息は見込めず、WITHコロナのマインドに切り替えた生活が日常化しています。

こうした中で今期、予定の奉仕活動は思うに任せぬ、対面の例会もできず多くがリモートを余儀なくされ、地区大会も参加が限られ他クラブ会員との交流もままならず四つのテストの『好意と友情を深める』ことが叶いませんでした。

ですが、期末には多摩南グループIM、八王子東RC合同例会、親睦旅行に多くのファミリーの参加、と会期末に至り親睦を深めることができました。

また、初めて取り組んだ日野RCと共にフードドライブ事業は、事前のPRもあり多くの市民から善意が寄せられ、プログラムとして公共イメージアップを図ることができました。(編集子)

◆◆◆懇親会◆◆◆

司会の平吹会員の、皆さんこんばんは、ご覧の通り無事引継ぎ式が終わり、来月から新体制がスタートと挨拶。続けて渡邊会員の「梅田さんお疲れさまでした。守重さん頑張ってください。楽しく飲みましょう!」と挨拶、続けて、カンパイ!で始まった懇親会、全員から、梅田会長・結城幹事へ1年間の労をねぎらう声がかけられ、守重新体制への期待の声が寄せられた。

早い梅雨明けで猛暑到来、政府の東京電力管内へ発令している電力需給逼迫注意報の継続で節電の呼び掛け、ウクライナの戦況、各地で起きる地震、大リーグのエンゼルス大谷の大活躍、女子ゴルフ中堅の優勝、参議院選、生活用品・食品の相次ぐ値上げなどの話題で、定刻迄親睦を深めることができ、馬場会員の「無事に1年間過ごせました。皆様に感謝です。守重さん仙波さん年度もこれ以上に発展することを願ってます」の挨拶、中締めで散会。





出席報告	総数	出席	MU前	MU後	欠席	出席率
第1587回	23	18	1	-	4	82.6
第1585回	23	20	1	0	2	91.3

ニコニコBOX 本日 0円 累計 765,114円
本年度目標額1,200,000円 達成率63.7%

※今週のメーカアップ なし
※先々週の後メーカアップ なし

6/28 地区の「クラブ会長・幹事会」でいただいた賞状です。



5/24 親睦旅行の車中にて、昨年11月に新規入会された御幡会員から、お酒にまつわるこぼれ話がありました。以下、その要旨です。

「ワインは武器になる」

国税庁は徴税ばかりが仕事ではありません。お酒に関する仕事、例えばお酒の製造や販売に関する免許の交付などです。

これから向かいます山梨県は、日本でも有数な国産ワインの産地として知られていますが、これには訳があります。

山梨県は、ワインの原料となるブドウの生育に適している地形風土が挙げられますが、戦時中に日本軍がワイン造りを奨励したことにも要因となっています。

ブドウからワインを醸造すると、ワイン中に沈殿する滓(おり)や、貯蔵する酒樽の周壁に白い小さな結晶体が生じます。この結晶体を酒石酸(しゅせきさん)といい、酒石酸に加里ソーダを化合させると、酒石酸加里ソーダという少し大きな結晶体が精製されます。これがロッセル塩と呼ばれるもので、山梨県の「サドヤ醸造場」が国内で唯一、製造が可能でした。

ロッセル塩は、音波をすばやく捉える特性があり、第2次世界大戦ではドイツがいち早くこれを採用して音波防御レーダーを開発、艦船に装備して、潜水艦や魚雷に対処する兵器とし、効果を発揮していました。

日本海軍はミッドウェー海戦で航空母艦4隻を失う大打撃を受けたことから、同盟国ドイツに兵員を派遣し、ロッセル塩を利用した探査技術を習得させ、艦艇の戦備を強化することにしました。

そして、海軍は全国のワイン醸造場に酒石酸の採取を働きかけ、酒石酸は「サドヤ醸造場」に集められロッセル塩を精製し、精製品は対潜水艦用の水中聴音機(ソナー)の量産態勢を行いました。ソナーは、まさにブドウから作る兵器だったのです。

現在、ロシアのウクライナ侵攻が続いているが、少しでも早く平和を取り戻して、美味しいワインを楽しく飲める日が来ると良いですね。

